

7 令和6年度主要観光施策

来函観光客の満足度を向上させるため、提供するサービスやコンテンツの質を高め、函館観光全体の消費額の向上を図るとともに、観光消費の経済波及効果で市民生活を豊かにします。

【主要施策】

1 質の高い観光により観光消費額を向上させる

- 近隣の自治体との連携を深め、道南地域全体の観光資源を効果的に発信するとともに、函館を拠点とした魅力ある観光プログラムの造成を図ることで、函館市内の宿泊日数の増加に繋がります。
- 富裕層をはじめとする旅行者のニーズに対応するために、函館の自然環境や文化、歴史などを活用した付加価値が高い観光コンテンツづくりを推進し、プロモーションを行っていきます。
- 欧米からの訪日外国人観光客の誘致を強化するほか、東京から北関東、東北を経て、本市へ至る周遊ルートを確立することで、消費単価の高い訪日外国人観光客の誘客を目指し、市内の観光消費額の向上に繋がります。
- 函館市内における観光消費機会の拡大に向けて、観光客の旅マエ、旅ナカ、旅アトの段階ごとに、ターゲットの特性に応じたツールを活用して効果的な情報発信に努めます。
- 市内の観光スポットにおけるWi-Fi環境の提供を引き続き行うほか、「縄文文化通訳ガイド人材バンク事業」におけるガイド人材の育成など、受入環境の整備を図り、訪日外国人観光客等の満足度向上を図ります。
- 北海道新幹線の延伸を見据え、道内の自治体との地域連携を図ります。
- 歴史や映画、アニメの聖地巡礼などといった一定のファン層に支えられている付加価値の高いコンテンツの推進を図ります。
- MICE誘致に向けて、観光地として高い評価を得ている観光資源を十分に活用しPRするとともに、エクスカージョンの充実にも力を入れるなど、質の高い受入環境の整備を進め、さらなる誘致に繋がっていきます。
- ユニバーサルデザイン観光（UD観光）に関する情報を収集し、市内の事業者へ情報発信することでUD観光を推進するとともに、観光客への情報提供のあり方について検討します。

2 観光の閑散差を是正する

- 中国、台湾、東南アジア諸国など、雪への憧れや興味が強い国や地域への冬のコンテンツ提案や、秋冬の見どころやイベントの情報発信を行い、閑散期の函館観光の起爆剤となるよう誘致を推進します。
- 季節のみに頼ったイベントやコンテンツだけではなく、函館独自の観光資源や他のコンテンツなどと組み合わせるなど、誘客効果の高い秋・冬のイベント、コンテンツを検討します。
- 函館観光の閑散期でもある10月～翌3月の教育旅行需要の掘り起こしを進めると同時に、歴史や文化など、教育旅行に適したコンテンツの拡充を進めます。

3 函館観光を盛り上げる人を増やす

- 函館観光に携わる観光ガイドやボランティアなどの活動について情報発信を行います。
- 誰もが函館の魅力を発信することが出来る，SNSを活用した新たな取り組みを実施するとともに，市民が函館観光に触れる機会を増やすための事業を検討します。
- 市内の高校生や大学生が，函館の観光関連産業で働く姿を具体的にイメージする機会を持てるよう検討を進めるほか，働き方改革やデジタル・トランスフォーメーション（DX）に係る情報について，観光関連事業者へ発信します。

4 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め，観光への市民理解を促進する

- 出前講座などの機会や様々な媒体を通じて，函館における観光の重要性について周知を図ります。
- 各種観光プロモーションやイベント等の機会を活用し，函館で生産された農産品や水産品，土産品などの食のPRを推進していきます。

5 その他，観光振興を図るうえで必要な取り組み

- 地域の観光推進体制の強化を図る一つ的手段として，観光地域づくり法人（DMO）の設立を検討します。
- 計画の進捗管理，今後の施策の企画・立案の資する基礎的データの取得を目的とした各種調査を実施します。
- 青森市や弘前市等と連携し，青函圏の魅力を広く発信するとともに，誘客の強化に努めます。また，東日本の新幹線沿線地域や東北地域等と連携し，国内外からの誘客を図るための広域観光ルートの創出や交流人口の拡大に努めます。
- 賑わいや活気に満ちた満足度の高いイベントを計画・実施するため，既存イベントの見直しや他のコンテンツとの連携を進めるとともに，事業者や市民・観光客への情報発信に努めます。
- 地域の観光振興の中核を担う函館国際観光コンベンション協会との連携強化のほか，市内外の関係機関等との情報交換・交流を図り，情報ネットワークの拡充・強化に努めます。

【主な個別施策】

1 質の高い観光により観光消費額を向上させる

○滞在型観光の促進

函館観光の魅力の一つである「まち歩き観光」に対応した着地型の観光案内ツールとして、平成 21 年度から「函館まちあるきマップ」を作成し、多様なまち歩きコースの紹介するとともに、観光客の宿泊日数や滞在時間の長期化を図っている。

○新函館北斗駅広域観光推進協議会（H25.5設立）

北海道新幹線新駅沿線地域が保有する観光資源等を活用して観光客の誘致を図るため、北海道新幹線沿線の5市町および交通事業者等による協議会を設立し、北海道新幹線新駅沿線地域の宣伝誘客および地域の広域観光の振興に取り組んでいる。

<構成等>

函館市、北斗市、七飯町、鹿部町、森町、J R北海道等交通事業者、
各自治体観光協会

<主な取組>

- ・はこだて旅するパスポート、利用促進パンフレットの発行
- ・イベントプロモーション事業の実施
- ・駅ナカお出迎え事業の実施

○ラグジュアリーツーリズムの推進

昨年度実施した、中国人富裕層向け観光コンテンツ造成・販売事業実施業務において造成した、富裕層を対象としたコンテンツ（PR動画、モデルツアー）を活用し、当市の観光地としての魅力を訴求すべく、中国現地で旅行会社を対象としたセールスコールおよび個人旅行者を対象としたセミナーを開催する。

○アドベンチャートラベルの促進

ATWS（アドベンチャートラベル・ワールドサミット）北海道の開催を機に、北海道へのアドベンチャートラベルの需要が高まっている中、道南エリアでの普及促進の取り組みとして、事業者交流を目的としたワールドカフェの開催や人材育成事業として体験会の実施および救命講習などを行う。今後もさらなる観光消費額増大を目指し、アドベンチャートラベラーの受入環境整備に取り組む。

○欧米市場のプロモーション強化

昨年度実施したアメリカ市場の動向調査結果を踏まえ、旅行博の出展や現地旅行会社・メディアへの営業活動等を委託事業として行い、本市の情報発信を行うとともに認知度向上を図る。

○イーストジャパン・キャンペーン

羽田・成田の両国際空港を利用する外国人観光客を主なターゲットとし、京都・大阪などのいわゆるゴールデンルートではなく、東北・函館への誘客を目的とする。函館市、J R 東日本、J R 北海道、(一社)東北観光推進機構および東北・北海道新幹線沿線自治体(青森市・八戸市・盛岡市・仙台市)の連携により、当該観光地の魅力を海外観光客に発信するとともに、新幹線の利用を想定した周遊ルートの造成や商品販売により誘客促進を図る。

○函館市公式観光情報サイト「はこぶら」の運営

開設年月日：平成 20 年 12 月 1 日 (令和 5 年 3 月 15 日リニューアル)

掲載内容：飲食・観光スポット・土産品等の情報、イベント情報、
フォトライブラリー、交通・宿泊情報、観光コラム、
新型コロナウイルス感染症関連情報等

対応言語数：8 言語 (日本語、英語、中国語 (簡体字、繁体字)、韓国語、タイ語、
インドネシア語、マレーシア語)

【ページビュー数】

令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
9,307,811 件	6,913,559 件	7,026,110 件	10,142,848 件	8,976,635 件

○HAKODATE FREE Wi-Fi

平成 27 年度に函館市内の主要な観光エリアである元町エリアおよびベイエリアにおいて、35 施設に 48 アクセスポイントを設置し、平成 28 年 4 月 1 日から HAKODATE FREE Wi-Fi としてサービスの提供を開始。令和 5 年度には、エリアの見直しや機器の更新など、通信環境の再整備を行うことにより不稼働発生件数を抑えるとともに、最新機器に更新し通信速度を改善した。引き続き、Wi-Fi の運営管理を行うことで、外国人観光客の利便性、満足度の向上を図る。

○縄文文化人材バンク運営事業等

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録後、縄文文化交流センターを訪れる外国人観光客の増加により、通訳ガイドの不足が懸念されることから、縄文の魅力を正確に伝えることのできる質の高い通訳ガイドの確保および育成を図る。現状、旅行会社が外国人観光客へのガイドを依頼する際には、通訳案内士等の資格保有が条件となっているが、函館市内の資格所有者は少数であり、クルーズ船対応では札幌や青森のガイドに対応を要請している状況である。そのため、当市の有資格者を増やし、ガイド需要に応えることができるよう、縄文文化通訳人材バンク登録者を含む市内在住者を対象に、通訳案内士養成講座を開催する。

○外国人観光客向けA Iチャットボットの運営

外国人観光客からの問い合わせに、A Iチャットボットを活用することで、24時間対応が可能となり、受入環境の向上を図る。令和2年10月開設。

【利用実績】

	英語	繁体字	簡体字	韓国語	その他	計
令和3年度	72	14	1	2	3	92
令和4年度	141	81	6	25	0	253
令和5年度	567	335	28	42	1	973

○函館山夜景魅力度向上事業

主に夜景時間帯に発生している函館山山頂展望台の混雑状況を緩和するため、函館山山頂展望台からの夜景観賞だけでなく、函館山山頂を一体的な会場として函館山山頂広場および漁火公園を活用し、新たな夜景観賞スポットとするための実証実験を実施する。

○道内中核都市観光連携協議会（H23.4設立）

北海道6圏域の中核都市が相互に観光情報を発信するとともに、観光プロモーション事業等を共同で実施するなど、観光事業の一部を連携して実施する。

<構成等>

札幌市、旭川市、函館市、釧路市、北見市、帯広市

<主な取組>

6都市集客・周遊プロモーション事業

○「函館×名探偵コナン」特別イベント

函館を舞台とする『劇場版名探偵コナン 100万ドルの五稜星（みちしるべ）』の公開時期に合わせ、同作品とタイアップした各種企画を函館市内で展開することにより、地域の賑わいを創出するとともに、作品のファン層を中心とした誘客および観光消費の拡大を図る。

実施主体：「函館×名探偵コナン」特別イベント実行委員会

（函館国際観光コンベンション協会、函館商工会議所、北海道旅客鉄道株式会社、函館市）

実施期間：令和6年4月12日～9月30日

実施内容：スタンプラリー、まち巡りマップ、フォトスポット、市電コラボ、
歓迎フラッグ、バナー掲出等

○はこだてフィルムコミッション事業

平成15年12月に「はこだてフィルムコミッション」を設立し、テレビ、映画、雑誌等の撮影を支援している。

【撮影支援件数】

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
テレビ、映画等	69件	98件	99件	124件

○MICEの誘致

平成27年8月の「函館アリーナ」のオープンと平成28年3月の北海道新幹線開業を契機とした宿泊施設の増加などにより、当市の受入環境は大きく改善し、従前以上に多種多様な規模・内容のMICEの開催要望が増加していることを踏まえ、引き続き、（一社）函館国際観光コンベンション協会等と連携し、本市での開催にかかる支援メニューの充実を図るとともに、学会事務局や大学関係、PCO等への一層積極的な誘致活動を展開していく。

2 観光の繁閑差を是正する

○海外観光プロモーション

コロナ禍を経て、個人の外国人旅行者の入国が解禁され、今後インバウンドの大幅な増加が見込まれることから、台湾、中国、フィリピン、タイなど海外現地で旅行博等へ参加し、外国人観光客の積極的な誘致活動に取り組むほか、デジタルを活用した台湾人観光客の誘客、中国人富裕層向けのコンテンツ造成・販売、ベトナム旅行会社の招請などにより、旅行需要の喚起や地域消費の拡大につなげる。

○中国デジタルプロモーション

中国国内で人気のメッセージアプリ「Wechat」を活用し、引き続き当市の観光情報発信を行うとともに、これまで実施していたKOL（中国人インフルエンサー）を活用した情報発信と現地旅行博でのPRを組み合わせた観光プロモーションを実施する。現地旅行博でのステージイベントにはKOLが登壇し、函館観光の魅力を語る座談会を実施するほか、「Wechat」のフォロワー獲得のためキャンペーンやPRを行い、情報発信経路の拡大および中国人観光客の来函意欲の向上を目指す。

○魅力的な秋・冬のイベント

秋・冬のイベントとして、はこだてグルメサーカス、MOMI-Gフェスタ、はこだてクリスマスファンタジー、はこだて冬フェスティバル、湯の川冬の灯りを実施しているところであるが、特に冬の誘客効果を向上させるため、函館独自の観光資源や他のコンテンツとの組み合わせ等、イベントのあり方、見せ方を検討し、誘客効果の高いイベントの充実を目指す。

○教育旅行に適したコンテンツの拡充

修学旅行学習を通して、新・学習指導要領に掲げられている「探求学習」・「E S D（持続可能な開発のための教育）」・「キャリア教育」の実現が求められており、これらに対応したコンテンツを拡充することで、新幹線沿線エリアや航空機の直行便就航地エリアの学校を対象とした教育旅行誘致を目指す。

3 函館観光を盛り上げる人を増やす

○SNSを活用した新たな取り組みの実施

市内在住者または函館を訪れた人が、Instagram上で「#ハコラブ」＋「#函館旅行」または「#函館旅部」とタグを付けて投稿することにより、Instagram上で函館旅行を検討している人や、投稿者のつけたタグで投稿を検索した人に「函館の写真」と「投稿者の函館愛」が届き、多くの方に函館の魅力を知ってもらうことができる取り組みで、誰もがいつでも函館の魅力をPRすることができ、かつ情報の拡散力が高く、若年層の使用頻度が高いSNSを活用することで、函館の魅力の周知拡大や観光客の来函意欲の向上を図る。

4 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め、観光への市民理解を促進する

○出前講座・学校教育

函館における観光の位置づけ・重要性について市民理解を深めるため、出前講座や学校教育の機会を活用し、図解やイラストなどを用い分かりやすさを重視した方法で発信を行う。

5 その他、観光振興を図るうえで必要な取り組み

○函館市観光動向調査

本市を訪れる観光客の動向や満足度等を把握するため観光客へのアンケート調査を実施する。

○北前船日本遺産推進協議会（H29.5設立）

平成29年度に日本遺産認定されたストーリー「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」を活用し、関係機関等の連携のもと、観光振興および地域活性化の推進を図る。

<構成等>

石狩市，小樽市，函館市，松前町，野辺地町，鱒ヶ沢町，深浦町，能代市，男鹿市，秋田市，由利本荘市，にかほ市，酒田市，新潟市，長岡市，佐渡市，上越市，富山市，高岡市，輪島市，小松市，加賀市，坂井市，南越前町，敦賀市，小浜市，宮津市，新温泉町，鳥取市，浜田市，呉市，尾道市，倉敷市，赤穂市，高砂市，洲本市，神戸市，大阪市，鶴岡市，出雲崎町，村上市，金沢市，白山市，志賀町，美浜町，泉佐野市，姫路市，たつの市，竹原市，多度津町，備前市，岡山市

<主な取組>

- ・北前船寄港地に係る情報発信および交流人口拡大
- ・北前船寄港地に係る歴史文化の環境整備

○北海道ドラマティックロード推進協議会（H30.4設立）

北海道新幹線開業を契機として、函館および道南への観光客が増加する中、日本有数の観光資源を有し、特に国内外の観光客の誘客が期待できる札幌市，登別市，函館市の3市が連携し、交通事業者等と協力しながら3市を基軸とした広域周遊ルートの形成およびその認知向上を図り、国内外からの誘客と周遊を促進する。

<構成等>

函館市，札幌市，登別市

<主な取組>

- ・個人旅行者獲得のための取り組み
- ・北海道ドラマティックロードのブランディング

○青森市との共同プロモーション

令和6年6月末で解散した青函観光宣伝協議会の枠組みで青森市と連携し、青函両市を一体の観光圏として売り込み、観光客の誘致を図ることを目的に、両市ともに空路でつながっている中部圏・関西圏を対象に観光プロモーションを実施する。

<構成等>

函館市，青森市

<主な取組>

- ・都市圏での共同プロモーション

○東日本広域周遊ルート関係

平成27年度からさいたま市主催の北海道新幹線沿線自治体の「東日本連携・創生フォーラム」首長連携会議が開催されている。本フォーラムの枠組みを活用し、東日本連携各自治体間の広域連携による物産・食・文化・祭・イベント等の地域資源を相互活用した広域観光周遊ルートの策定および当該周遊ルートの国際的な観光認知度の向上を図る。

<構成等>

さいたま市（事務局）、函館市、札幌市、青森市、八戸市、盛岡市、岩手町、仙台市、秋田市、山形市、会津若松市、福島市、郡山市、宇都宮市、小山市、那須塩原市、みなかみ町、新潟市、三条市、魚沼市、南魚沼市、高岡市、氷見市、南砺市、金沢市、長野市、上田市、福井市

<主な取組>

- ・東日本ウェブプロモーション事業

○3D連携関係

函館、大館、角館の3D（館）に加え、秋田犬ツーリズムを構成する北秋田市、小坂町、上小阿仁村が連携し、北海道・東北新幹線、函館空港と仙台空港を結びつけるなど、広域周遊ルートの開発により国内外からの誘客を拡大する。

<構成等>

函館市、大館市、仙北市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村

<主な取組>

- ・相互イベント交流

○青函4市連携

令和元年度末に解散した「青函圏観光都市会議」の枠組みで青森市、弘前市、八戸市、函館市の4市が連携し、相互プロモーションなどの取り組みにより、交流人口の拡大を図る。

<構成等>

青森市、弘前市、八戸市、函館市

<主な取組>

- ・相互イベント交流

○ひろはこ連携推進実行委員会（R4.4設立）

古くから人・物の交流によるつながりがあり、広域観光などにおいて関わりが深い弘前市と連携し、両市の相互誘客や周遊観光の促進などを図る取り組みを実施する。

<構成等>

弘前観光コンベンション協会、函館国際観光コンベンション協会、弘前市、函館市

<主な取組>

冬には「初音ミク」の派生キャラクターである北海道応援キャラクターの「雪ミク」と、春には同じく派生キャラクターで弘前さくらまつり公式応援キャラクターの「桜ミク」と連携した取り組みを両市で展開する。

○函館国際観光コンベンション協会

本市の観光振興および地域経済活性化を図ることを目的として補助金を交付している。

○イベント一覧

【主なまつり・イベントの開催一覧】

名 称	主 催 者 名	開 催 時 期	行 事 内 容
箱館五稜郭祭	箱館五稜郭祭協賛会	5月中旬	碑前祭（5月第3土曜日）， 維新行列，開城セレモニー
恵山つつじまつり	恵山つつじまつり 実行委員会	5月中旬～6月上旬	ソーラン踊り，吹奏楽演奏ほか
南かやべひろめ舟祭り	南かやべひろめ舟祭り 実行委員会	6月中旬	舟こぎ競争，郷土芸能ほか
函館港花火大会	函館新聞社	7月中旬	海の日を記念した花火大会
市民創作函館野外劇	市民創作「函館野外劇」の会	7月上旬～8月上旬	野外劇「星の城，明日に輝け」
函館港まつり	函館港まつり実行委員会	8月1日～5日	ワッショイはこだて，歩行者天国， 道新花火大会ほか
湯の川温泉花火大会	湯の川温泉花火大会 実行委員会	8月中旬	花火大会
はこだてグルメサーカス	はこだてグルメサーカス 実行委員会	9月上旬	飲食ブースの出店，ステージイベント
はこだてMOMI-Gフェスタ	函館市	10月中旬～11月上旬	紅葉のライトアップほか
はこだてクリスマス ファンタジー	はこだてクリスマス ファンタジー実行委員会	12月	巨大もみの木のクリスマスツリーの 設置，花火の打ち上げほか
五稜星（ほし）の夢	五稜星の夢実行委員会	12月初旬～2月下旬	特別史跡五稜郭跡の外堀の イルミネーションほか
はこだて冬フェスティバル	はこだて冬フェスティバル 実行委員会	12月初旬～2月下旬	二十間坂通，開港通りなどのイルミ ネーション，ライトアップほか
湯の川冬の灯り	湯の川冬の灯り実行委員会	12月初旬～2月下旬	イルミネーション，ライトアップ， 湯の川まちあるきイベントほか
函館港イルミナシオン映画祭	函館港イルミナシオン 映画祭実行委員会	12月上旬	映画の上映，トークショー， シナリオ大賞受賞式ほか
はこだてFOODフェスタ	はこだてFOODフェスタ 実行委員会	2月下旬	「食」をテーマとした各種イベント

注）各支所管内のまつり・イベントを含む。